

令和4年度第2回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立 和泉支援学校
(准)校長名	竹内 功

開催日時	令和4年11月7日(月)10:00 ~ 11:30
開催場所	校長室
出席者(委員)	藤井会長、石田委員、西川委員、永井委員、今村委員、神山委員
出席者(学校)	竹内校長、大原教頭、向山教頭、事務長、和田首席、東首席・高等部主事、米田教諭・中学部主事、山本(幸)首席、山本(昇)首席、山本(真)教諭・小学部主事
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会次第 ・授業参観アンケート結果 ・学校教育自己診断票 ・学習指導略案及び児童生徒の「キャリアプランニングマトリクス」
備考	

議題等(次第順)

- (1)今年度の学校経営について
- (2)学校教育自己診断について
- (3)授業アンケートについて
- (4)その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

<協議内容>

(1)今年度の学校経営について

【授業作りについて(学習指導要領の確実な実施)】

・本校の教員が全員スタンダードで一定の指導力を持つことを目標に、研究部とICT教育推進部が中心となり教職員の授業力の向上に取り組んでいる。・本校の授業スタンダードを構築するにあたっては、運営協議会や大学、教育センターの指導主事等外部の先生方からのアドバイスをいただいているそれぞれの分野で課題を設定し、教職員それぞれが授業力の向上に取り組んでいる。・児童生徒に一人一台端末が貸し出しされて児童生徒が使えるようになるように教員の授業力向上を図っている。各教員がタブレット型端末をできるようにICT部各教員が各教員の力量に合わせた講座を開き研鑽に励んでいる。・これまで紙ベースで行ってきた研修の回答アンケートの提出等をグーグルフォームで意見を提出することでICT機器の利用に慣れ、集約等も簡単に合理的に行える。

【進路について(一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実)】

・卒業生のうち約1割が一般就労を希望している。・卒業後すぐの就労を希望する生徒のためのチャレンジコースの専科の時間を現行の2時間から5時間に増やし、より細かいところまで確実に身に付けてもらう。

・法改正により就労への門戸が広がったが、保護者の意識が変わり、卒業後すぐの就労よりモラトリアムの期間を設けることや一般就労より福祉就労を望む声が多くなってきている。・就職することがゴールではなく働き続けられることが大切。

【工事について(安全安心な学校づくりの推進)】

・体育館、小中ホールの中空調整備について予定外の工事が必要になり、工期が伸びた。

【新型コロナウイルス感染症対策について(安全安心な学校づくりの推進)】

・現在においてはクラスターや学級・学年閉鎖などの大きな影響は出ていない。校内外行事は予定通り実施。

・同窓会を再開し100名以上が参加。

【防災の取り組みに付いて(安全安心な学校づくりの推進)】

・忠岡町 高石市在住の児童生徒も福祉避難所の利用が可能となった。3市1町の全ての現役在校生が避難可能。・防災ヘルメットの全員分購入に向けて、PTAの寄付により準備していく予定。廊下に吊っておき非常時に備える。

【交流および共同学習等について(特別支援教育のセンター的機能の充実)】

・新学習指導要領総則に記述されており、小中9年間毎年交流をすることで関係性を作ることができる。高等部は校区が広いのでクラブ活動を通じた交流を行っている。

(2)学校教育自己診断について

- ・内容結果については本校HPIにて公開。

(3)授業アンケートについて

- ・アンケートは取るだけではいけない。授業にアンケートの内容を反映するのか？
- ⇒結果を真摯に受け止め本校の授業スタンダードに落とし込んでいく。建設的な意見の交換を今後も行っていきたい。

次回の会議日程

日時	令和 5年 2月 8日(水)10:00～	会場	和泉支援学校
----	----------------------	----	--------